

教育部会



はじめに

歴史とは、ただの「もう終わった出来事」でしょうか？

私たちはそうは思いません。私たちの郷里は歴史の宝庫です。

歴史を知り見つめることは、よりよい未来を考えること。

私たちの文化や生活、地域の誇りといった事柄は、常に歴史の延長線上に存在しています。

——だからこそ。未来を担う子供たちに、伝えたいことがあります。

誇れる地域の歴史を先人たちがどういった想いで、どういった知恵で今日まで紡いできたのか。

「教育部会」では、未来を担う子どもたちに、地域の歴史を学ぶための学習支援について、さまざまな取り組みを行っていきます。

また、「政宗検定」など一般層に歴史について関心をもってもらう企画も準備中です。

くわしい活動は、今後、「活動報告」のページで紹介していきますので、乞うご期待！